

4/17



ありそドームをスタート地とした
富山湾岸サイクリングに出場

5/20



伏木神社春季例大祭
伏木曳山祭のライトアップ

6/5



島尾海岸で行われた伏木地区
児童クラブ連絡協議会の行事

7/10



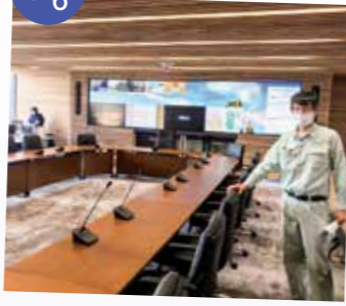
太田地区にて
イノシシ防止柵の設置のお手伝い

8/21



国分港内でのサザエの稚貝放流

9/6



10月に開所した
防災危機管理センター視察



用語集

この言葉
どんな意味?

P1 ※1【地域公共交通計画】

地域交通を取り巻く変化に対応するため、公共交通の維持確保や利便性の向上などの施策を有識者や交通事業者等で構成する地域公共交通戦略会議にて検討を進め令和5年度末までに策定する。



P2 ※2【信用保証協会】

中小企業等が金融機関から融資を受ける際に、信用保証料を負担することによって本来必要な担保や保証人などを補って融資を保証する公的機関。



P2 ※3【栽培漁業センター】

県内2か所(氷見市と滑川市)に整備されている。10月にリニューアルされた氷見センターではクロダイとクルマエビ、滑川センターではヒラメとアワビに加えて最近ではキジハタ・アカムツの種苗生産と放流を行っている。



最新情報はこちらから→

針山たけし

検索



このまちの自然、歴史、文化を伝える

針山たけし県政報告

発行者／自由民主党富山県議会議員会 針山たけし

vol.6

令和4年
10月発行



県議会 6月定例会 予算特別委員会

- 1.地域経済の活性化について
- 2.公共交通の維持・活性化について
- 3.デジタル化等について

県議会 9月定例会 予算特別委員会

- 1.中小企業支援について
- 2.持続可能な地域鉄道について
- 3.水産業振興について
- 4.経済交流、観光振興等について

ごあいさつ

2022年を振り返るにはまだ早いですが、年男として迎えた本年もいろいろな出来事がありました。

新型コロナウイルスの感染拡大警報「富山アラート」がようやく解除されて全国旅行支援が再開し、外国人の入国制限も緩やかになりました。

最近よく耳や目にするのが、「3年ぶりの…」。

万全の対策を講じながら各地域の行事やイベントも開催されるようになってきております。ただ、私たちはあまりにも長い時間をコロナとの闘いに費やしてきました。新しい時代への転換期とするチャンスではありますが、一方で大事なものを失っていないのか。

ロシアとウクライナの戦いは激化しており今後の展開は想像もつきませんが、世界中で資材高・エネルギー高を引き起こし、私たちの生活に大きな負担を強いています。

また、気候変動に伴う災害の頻発化と激甚化への備えも怠ってはいけません。次世代に「まちの自然、歴史、文化」を伝えるためにいまの私たちができること、すべきことに取り組んでいく所存でございます。

引き続き皆さまの変わらぬご支援、ご指導をお願いいたします。 針山 健史